

地域政策学を学ぶ留学生のための学習漢字の選定

— 『地域政策学事典』を資料として—

木 暮 律 子

Selection of Kanji to be learnt for International Students Studying Regional Policies

— Using Regional Policy Dictionary as a Reference —

Ritsuko KOGURE

要 旨

専門分野の漢字の習得は、留学生が専門教育を受けるうえで欠かせないものである。専門分野で使われる漢字を効率よく身に付けるには、その分野で使用頻度の高い漢字を特定し、専門分野の学習に役立つ漢字を留学生の日本語能力に合わせて選定することが重要である。

本稿では、地域政策学を学ぶ留学生のための学習漢字の選定を目的として、『地域政策学事典』に出現する漢字の出現傾向を分析した。その結果、出現頻度上位398字で事典に出現する延べ漢字の90%をカバーできることが明らかになった。そして、この398字の出現状況をレベル別、章別に調査したうえで、各章の読解に役立つ上級漢字を追加し、留学生にとって未習の可能性が高い143字を学習漢字として選定した。この143字を優先的に学習することで、事典の読解における留学生の負担を軽減し、地域政策学の基礎を効率的に身に付けていくことができると考える。

キーワード：留学生 漢字 出現頻度 難易度 重要度

Summary

It is indispensable for international students receiving a specialized education to acquire kanji used in the specialized field. Identification of kanji frequently used in the field and appropriate kanji selection according to Japanese proficiency of a student is important for

effective learning of kanji used in the specialized field.

This paper analyzed the usage trend of kanji on “Dictionary for Regional Policy Studies” in order to select kanji to be learnt by international students studying regional policies. As a result, it has turned out to be clear that the top 398 characters among those most frequently used can cover 90% of the total number of the Kanji that used in the dictionary. Therefore, through researching the usage situations of these 398 characters for each level and for each chapter, added advanced kanji useful for reading each chapter, and thus the author selected 143 characters that are highly possible to have not yet been learned by international students. It is considered that learning these preferential 143 characters can alleviate the burdens for international students in reading of the dictionary and thereby, they can acquire the basics of the regional policy studies more efficiently.

Key Words: international students, kanji, frequency of the usage, degree of difficulty, Importance

I 研究の背景と目的

近年、日本で学ぶ留学生の出身国が変化しており、非漢字圏からの留学生が急増している。日本学生支援機構の外国人留学生在籍状況調査によると、平成28年5月1日現在の外国人留學生数は239,287人であり、出身国（地域）別では、中国が98,483人（対前年比4,372人増）と最も多く、次いでベトナム53,807人（対前年比14,925人増）、ネパール19,471人（対前年比3,221人増）となっている。これまで多かった韓国、台湾からの留学生を、ベトナム、ネパールからの留學生が上回っただけなく、インドネシア、スリランカ、ミャンマーからの留學生も年々増加しており、非漢字圏出身留學生の増加は今後も続いていくものと思われる。このような現象は、特に日本語学校で顕著であるが、大学においても徐々にそのような変化が見え始めてきている。

2017年度現在、本学には107名の留學生がおり、そのうち76名が地域政策学部 に在籍している。留學生の出身国（地域）は、中国63名、韓国4名、台湾2名、ベトナム6名、カンボジア1名となっており、今年度入学した新入生24名のうち6名が非漢字圏出身の留學生である。

非漢字圏出身の留學生は、漢字圏出身の留學生と比べ、漢字の習得に時間が掛かり、漢字がわからないために文意がつかめないなど、文章の読解においても多くの困難が伴う。また一方で、専門分野で使われる漢字は、日常生活では使わないものや特殊な読み方をするものがあり、漢字圏出身の留學生にとっても難しいものが少なくない。専門分野の漢字の習得は、留學生の母語に関わらず重要な課題となっており、これまで医学や工学、経済学など様々な分野において漢字の調査が行われてきた。これらの調査によって、留學生に必要な漢字は専門分野によって異なるこ

とが明らかになり、その結果をもとに留学生のための辞典や教材の開発が進められてきた（三枝ほか2005, 増田ほか2006, 石鍋2007等）。

留学生の漢字学習を効率的に行うためには、その分野で使用頻度の高い漢字を特定し、専門分野の学習に役立つ漢字を留学生の日本語能力に合わせて選定することが重要であるが、どの漢字をどのように学べば必要な漢字を効率的に習得できるのか、地域政策学で使われる漢字やその指導法に関する調査研究は行われていないのが現状である。そこで、本研究では、留学生のための漢字教材の作成を目指して、地域政策学で使われる漢字の出現傾向を明らかにし、留学生に必要な学習漢字を選定することを目的とする。

Ⅱ 調査概要

(1) 調査資料

本研究では、地域政策学で使われる漢字を抽出するための資料として、『地域政策学事典』（以下、事典）を用いた。この事典は、2011年に本学地域政策研究センターによって刊行され、地域政策学とは何かを初学者にもわかりやすく解説したものであり、以下のような3部構成からなる。

『地域政策学事典』の構成

第Ⅰ部 地域政策を構成する基本政策

- 1 都市政策 2 住宅政策 3 農業政策 4 産業政策 5 交通政策 6 社会政策
7 文化政策 8 教育政策 9 福祉政策 10 保健医療政策 11 環境政策 12 観光政策

第Ⅱ部 地域政策に関する基礎知識

- 1 ガバナンス 2 公共政策 3 政策科学 4 オペレーションズ・リサーチ
5 地方分権と地域主権 6 地域概念と地域主義 7 地域政策 8 地域づくり
9 地域政策の担い手 10 市民参加と協働

第Ⅲ部 個別領域

- 1 地域行政 2 法制度と地域 3 都市・農村 4 地域経済 5 地域コミュニティ
6 地域福祉 7 地域環境 8 地域観光 9 地域史

このうち、第Ⅰ部の基本政策と第Ⅱ部の基礎知識は、教養教育から専門課程前段階（1～2年次の専門基礎科目）に学ぶべきものとして位置づけられている（増田ほか編著2011:7）。第Ⅰ部・第Ⅱ部は、地域政策学の全体像を把握し、地域政策学を構成する学問領域を理解するうえで重要なものであり、所属する学科やゼミナールに関わらず、すべての学生が共通して修得すべき内容であると言える。したがって、留学生にとっても、まずはこれらの文章を読めるようになることが必要であると考え、今回の分析では事典の第Ⅰ部・第Ⅱ部を調査対象とすることにした。第Ⅰ部は12の基本政策、第Ⅱ部は10の基礎知識について、各項目2頁にわたって説明されている。

本稿では、この22の項目を「章」と呼ぶことにし、22章（44頁）の本文に出現する漢字の分析を行った。

（2）調査方法

まず、調査対象とした22章の本文に出現する漢字を抽出し、その字数を章ごとにカウントしてから事典全体の出現頻度を算出した。ただし、各章の本文末尾に記載されている執筆者名は調査対象から除いた。

次に、抽出した漢字の難易度を判定した。この事典は、留学生を対象として編まれたものではないため、本文の漢字にルビは振られておらず、使用する漢字の分量や難易度についても特別な配慮はなされていない。したがって、留学生がこの事典の文章を読もうとすると、意味や読み方のわからない漢字もあると思われる。そこで、事典に出現する漢字の難易度を日本語能力試験の出題基準に従って判定した。日本語能力試験とは、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定することを目的とし、国内及び海外で実施されている試験である。2009年までは1級（難）～4級（易）の4段階のレベルが設定されていたが、2010年の改定により2級と3級の間のレベルとしてN3が新設され、現在はN1（難）～N5（易）の5段階のレベル設定がなされている。旧試験では出題基準として漢字のリストが公開されていたが、新試験ではそのような基準が公開されていないため、本研究では旧試験の基準に従って判定を行い、旧試験に対応する新試験のレベルで判定結果を示すこととする¹⁾。なお、漢字のレベル判定には、日本語読解学習支援システム「リーディング・チュウ太」(<http://language.tiu.ac.jp/>)の漢字チェッカーを利用した。これは、旧日本語能力試験の出題基準に従って漢字の難易度を判定するツールであり、旧試験の出題範囲に含まれない漢字は級外、出題範囲に該当する漢字は新試験のレベルでN1、N2N3、N4、N5と表示される。本稿でも、この判定に従って調査結果を示すこととする。

そして、出現した漢字の頻度と傾向をもとに、事典を読解するうえで重要な漢字を特定し、どの程度の漢字を学べば事典の読解に対応できるのかをレベル別、章別に検討したうえで、地域政策学を学ぶ留学生が学習すべき漢字を選定した。

Ⅲ 事典に出現する漢字の傾向

事典に出現した漢字の総数（延べ漢字数）は17,129字、出現した漢字の種類（異なり漢字数）は1,005字であった。では、これらの漢字を留学生はどのくらい理解できるのだろうか。表1は、留学生にとっての難易度という視点から、旧日本語能力試験の出題基準をもとに、出現漢字のレベル別の割合を示したものである。

これを見ると、延べ漢字、異なり漢字ともにN2N3レベルの漢字が最も多く、それぞれ50.8%、49.0%と、全体の約半数を占めていることがわかる。異なり漢字では、N1レベルの漢

字が次に多く、異なり漢字全体の29.1%を占めている。本学地域政策学部在籍する留学生の、入学時における過去5年間（2013年度～2017年度）のN1合格率は49.0%であることから、過半数の留学生にとって、N1レベル以上の漢字312字は未習の可能性が高く、入学時には事典に出現する3割程度の漢字の知識が不足していると言える。

表1 出現漢字のレベル別内訳

| | 級外 | N1 | N2N3 | N4 | N5 | 合計 |
|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 延べ漢字数 | 47 | 2310 | 8705 | 4269 | 1798 | 17129 |
| 割合 | 0.3% | 13.5% | 50.8% | 24.9% | 10.5% | 100.0% |
| 異なり漢字数 | 20 | 292 | 492 | 132 | 69 | 1005 |
| 割合 | 2.0% | 29.1% | 49.0% | 13.1% | 6.9% | 100.0% |

また、延べ漢字と異なり漢字の比率に着目すると、N4・N5レベルの漢字は異なり漢字より延べ漢字の割合が高いのに対し、級外・N1レベルの漢字は、延べ漢字より異なり漢字の割合が高いことに気づく。これは、日本語レベルの低い漢字は事典中の出現頻度が高く、同じ漢字が繰り返し出現する傾向にあるからだと考えられる。

では、事典には、どのような漢字が出現しているのだろうか。次章では、漢字の出現頻度をもとに、事典を読解するうえで重要な漢字の特定を試みる。

IV 重要度の高い漢字の特定

(1) 頻出漢字とその特徴

表2は、事典中に出現する上位20位までの漢字の出現頻度と、その漢字が出現する章の数を示したものである。

表2 出現頻度上位20位までの漢字

| 順位 | 漢字 | 出現頻度 | 出現章数 | 順位 | 漢字 | 出現頻度 | 出現章数 |
|----|----|------|------|----|----|------|------|
| 1 | 地 | 424 | 17 | 11 | 国 | 137 | 17 |
| 2 | 政 | 409 | 22 | 12 | 行 | 135 | 21 |
| 3 | 策 | 353 | 21 | 13 | 体 | 133 | 22 |
| 4 | 域 | 326 | 21 | 14 | 民 | 132 | 21 |
| 5 | 的 | 262 | 22 | 15 | 性 | 127 | 21 |
| 6 | 市 | 169 | 15 | 16 | 人 | 126 | 19 |
| 7 | 業 | 159 | 16 | 17 | 活 | 124 | 19 |
| 8 | 会 | 154 | 20 | 17 | 方 | 124 | 21 |
| 9 | 化 | 153 | 20 | 19 | 定 | 122 | 21 |
| 10 | 題 | 146 | 22 | 20 | 生 | 121 | 20 |

上位20位までの漢字は事典中に120回以上出現しており、特に、事典のタイトルに含まれる「地」「政」「策」「域」の上位4位までの漢字は出現頻度が300回を超えている。また、どの漢字も15以上の章に出現しており、22章すべての章に出現する漢字も4字あることから、出現頻度の高い漢字は特定の章だけでなく、多くの章に広く出現する傾向にあると言える。したがって、頻出漢字を理解することにより、事典全体の読解も容易になると推測されるが、どのくらいの頻度で出現する漢字をどの程度学べば、事典の読解に役立つのだろうか。本研究では、出現漢字の使用度数分布をもとに学習漢字の抽出を行った武田（2005）や中川（2010b）の手法を用いて、事典の読解に必要な漢字の特定を試みた。

（2）重要漢字の抽出

図1は事典に出現した異なり漢字1,005字の使用度数分布を示したものである。これは、異なり漢字を出現頻度の多い順に配列し、その出現頻度の合計が延べ漢字全体のどれだけの割合を占めるかを算出したものである。この図から、上位何位の漢字で事典に出現する漢字の何パーセントがカバーできるかを知ることができる。例えば、表2に挙げた出現頻度上位20位までの漢字の出現頻度の合計は3,836回であり、これは事典中に出現する延べ漢字17,129字の22.4%を占める。この数値は、上位20字だけで事典に出現する漢字の約2割をカバーすることができるということを意味しており、出現頻度が上位の漢字が事典中に集中して出現していることがわかる。

このように、出現漢字の頻度順位と出現漢字全体に占める割合（カバー率）を見ていくと、上位398位までの漢字で、事典に出現する漢字全体の90.3%を占めることが明らかになった。事典には1,005字の異なり漢字が出現しているが、その4割弱の漢字で事典に出現する漢字全体の9割をカバーできるということになる。本稿では、この398字を『地域政策学事典』の読解に欠かせない、重要度の高い漢字として捉え、「重要漢字」と呼ぶことにする。

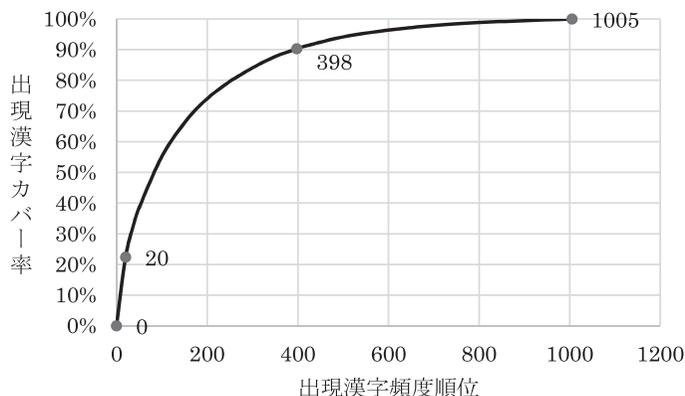


図1 出現漢字1,005字の使用度数分布

(3) 重要漢字の特定

次の表3は、この重要漢字398字を旧日本語能力試験のレベル別にまとめたものである。398字のレベル別の内訳を見ると、級外が1字(0.3%)、N1が57字(14.3%)、N2N3が220字(55.3%)、N4が85字(21.4%)、N5が35字(8.8%)となっており、N2N3レベルの漢字が半数以上を占めている。事典が読解できるようになるためには、まずこの398字を習得する必要があると考えられるが、前述したように、本学地域政策学部在籍する留学生の日本語能力は、概ねN2レベルであると推測されることから、ここに挙げたすべての漢字を一律に学習するのは現実的ではないと言える。留学生の日本語学習の背景は異なるため、どの漢字をどの程度習得しているか、一人一人の習得状況を把握することは難しいが、日本語能力がN2レベルにある留学生であれば、未習の可能性が高いN1レベル以上の漢字を中心に学習することで、事典の読解に必要な漢字を効率よく身に付けることができると考える。

表3から、留学生が未習の可能性が高い漢字として、N1レベル以上の58字が該当することになる。N2レベルの漢字知識をもっている留学生であれば、大学入学後に学習すべき漢字はかなり限られることになるが、留学生が学ぶべき漢字はこれだけで十分だろうか。次章では、留学生が学習すべき漢字の選定に向けて、重要漢字398字の出現状況をレベル別、章別に考察する。

表3 重要漢字のレベル別一覧 (398字)

| | |
|-------------|--|
| 級外 (1字) | 踪 |
| N1 (57字) | 策公基施保祉環展義働条推案提概源援影益響態整創評企織応護視振扱統健興障徴標及需従析範為異宣討模項審染緩系素廢挙携伴 |
| N2N3 (220字) | 政域的市化民性活定法実要共関成産都権決進能治対現制農合組利協交福解加機論経境議設様形育資宅念確観全団財担数府取働在改規村必参第部科革内例課光係済療限向直営可割期支構最統程委害存役過県際点変求識受準適付面連個指段階相他果失所約位供結消選置難務齡型効再状値当独央具次象情戦増造任門与容雇術常税表移格給原告総被非平補律劣汚検諸商責接单調配備流量減積然得各件示省層費豊防由和級競区互材専争築報予良居極欠困差述深身低等認判負路因含技救局雑児種除伝便列 |
| N4 (85字) | 地業会題体方問自社者動住主用通理事多画力計場度立意文目重家発特教代新考手有員不医明質集以同開持心町近少物安広世道作思待始凶味言正足知別野界強止死急工使切病料運究研口仕注転 |
| N5 (35字) | 国行人生年学分本中一大間上出見日高後來時下水外金小入今前二食長何三先月 |

V 重要漢字の出現状況

(1) レベル別出現状況

前章では、重要漢字398字で、事典に出現する漢字全体の90.3%をカバーできることが明らかになったが、この398字をレベル別に見た場合のカバー率はどうであろうか。各レベルの重要漢字数とその出現頻度の合計を調べ、延べ漢字数に占める割合からレベル別のカバー率を算出した。

表4 重要漢字のレベル別カバー率

| | 重要漢字数 | 重要漢字の出現頻度 | レベル別延べ漢字数 | カバー率 |
|------|-------|-----------|-----------|-------|
| 級外 | 1 | 14 | 47 | 29.8% |
| N1 | 57 | 1755 | 2310 | 76.0% |
| N2N3 | 220 | 7888 | 8705 | 90.6% |
| N4 | 85 | 4124 | 4269 | 96.6% |
| N5 | 35 | 1684 | 1798 | 93.7% |
| 合計 | 398 | 15465 | 17129 | 90.3% |

表4から、N2以下の漢字は抽出した重要漢字だけで、そのレベルの9割の漢字をカバーできているのに対し、級外とN1のカバー率は29.8%、76.0%と低く、重要漢字だけではこのレベルの漢字を十分カバーできないことがわかる。これは、Ⅲ章で述べたように、上級レベルの漢字は初級レベルの漢字と比べて出現頻度の低い漢字が多いことが関係していると考えられる。事典中で1回しか出現しない漢字の割合を調べたところ、N2N3が19.1%、N4が10.6%、N5が10.1%であったのに対し、級外では40.0%、N1では34.9%と、上級レベルの漢字ほどその割合が多く、特定の章でしか使われない傾向が見られた。したがって、上級レベルの漢字は、重要漢字だけを学んでも事典の読解に必要な漢字をカバーすることが難しく、各章における漢字の出現状況も考慮に入れながら、学習漢字を選定する必要があると言える。

では、上級レベルの学習漢字として、どのような漢字を追加すればよいのだろうか。次節では、重要漢字の章別の出現状況について見ていくことにする。

(2) 章別出現状況

重要漢字は、事典全体の出現頻度をもとに抽出した漢字であるが、この398字だけで各章に出現する漢字をどのくらいカバーすることができるのだろうか。次の表5は、各章に出現する重要漢字数とその出現頻度の合計を調べ、延べ漢字数に占める割合から章別のカバー率を算出したものである。

カバー率が最も高いのは「市民参加と協働」で、事典全体のカバー率90.3%を上回る96.4%

となっている。章中に出現する重要漢字は182字と少ないものの、重要漢字の知識があれば、この章に出現する漢字のほぼすべてを理解できることがわかる。一方、カバー率が最も低いのは「環境政策」で83.2%となっている。カバー率が低いということは、それだけ398字以外に出現する漢字が多いということを意味しており、重要漢字だけでは十分対応できないことを示している。また、この他にも9つの章でカバー率が90%に達しておらず、章別に見た場合にはカバー率のばらつきが大きいことがわかる。

事典を読解する際、章ごとに読み進めていくことを考えると、事典全体のカバー率だけでなく、それぞれの章を読むうえで重要な漢字も考慮に入れる必要がある。そこで、重要漢字に含まれていない漢字のうち、各章における出現頻度が高いものから順番に加えていき、どのくらい追加すれば各章のカバー率が90%に達するのか調べたところ、出現頻度が2回までの漢字を加えた時点ですべての章のカバー率が90%を超えることが明らかになった。次の表6は、章ごとの追加漢字の一覧を出現頻度順にまとめたものである。

このリストは、表5の章別カバー率と関係しており、「市民参加と協働」のように重要漢字の知識さえあれば、ほとんど漢字を追加することなく本文を読める章もあれば、「環境政策」のように、重要漢字に加え、さらに28字を追加しないとカバー率が90%に達しない章もある。リス

表5 重要漢字の章別カバー率

| | 重要漢字数 | 重要漢字の出現頻度 | 章中の延べ漢字数 | カバー率 |
|---------------|-------|-----------|----------|-------|
| 都市政策 | 220 | 785 | 879 | 89.3% |
| 住宅政策 | 198 | 755 | 829 | 91.1% |
| 農業政策 | 215 | 858 | 941 | 91.2% |
| 産業政策 | 206 | 836 | 893 | 93.6% |
| 交通政策 | 197 | 672 | 730 | 92.1% |
| 社会政策 | 202 | 736 | 815 | 90.3% |
| 文化政策 | 203 | 586 | 673 | 87.1% |
| 教育政策 | 201 | 729 | 813 | 89.7% |
| 福祉政策 | 205 | 775 | 839 | 92.4% |
| 保健医療政策 | 164 | 577 | 655 | 88.1% |
| 環境政策 | 209 | 667 | 802 | 83.2% |
| 観光政策 | 214 | 762 | 834 | 91.4% |
| ガバナンス | 151 | 527 | 567 | 92.9% |
| 公共政策 | 140 | 526 | 613 | 85.8% |
| 政策科学 | 201 | 750 | 835 | 89.8% |
| オペレーションズ・リサーチ | 191 | 640 | 736 | 87.0% |
| 地方分権と地域主義 | 189 | 907 | 981 | 92.5% |
| 地域概念と地域主義 | 194 | 707 | 793 | 89.2% |
| 地域政策 | 187 | 664 | 730 | 91.0% |
| 地域づくり | 202 | 672 | 732 | 91.8% |
| 地域政策の担い手 | 151 | 636 | 715 | 89.0% |
| 市民参加と協働 | 182 | 698 | 724 | 96.4% |
| 合計 | 4222 | 15465 | 17129 | 90.3% |

表6 重要漢字以外の章別漢字リスト

| | 各章の出現頻度が2回以上の漢字 | 漢字数 |
|---------------|---|-----|
| 都市政策 | 退 [☆] 執 [☆] 衰 [☆] 礎 [☆] 誰 [☆] 該 [☆] 節 [☆] 収歴史将像暮美送車 | 17字 |
| 住宅政策 | 建帯融 [☆] 杵 [☆] 即 [☆] 庫柱降根換五八 | 12字 |
| 農業政策 | 揮 [☆] 率落品避 [☆] 姿 [☆] 拓 [☆] 輪将望固売四六 | 14字 |
| 産業政策 | 街 [☆] 盤 [☆] 既 [☆] 精神優引信店 | 9字 |
| 交通政策 | 派 [☆] 故 [☆] 扱 [☆] 欲速登混敗占弱 | 10字 |
| 社会政策 | 女紀 [☆] 賃 [☆] 貧男派 [☆] 遣 [☆] 歴史初危帯族 | 13字 |
| 文化政策 | 芸管算庁劇演充 [☆] 首降楽館半電 | 13字 |
| 教育政策 | 編志 [☆] 況木扱 [☆] 埼 [★] 閣 [☆] 聴 [☆] 党処官令則申玉答校名 | 18字 |
| 福祉政策 | 職童括 [☆] 厚絡名 | 6字 |
| 保健医療政策 | 康 [☆] 患院棟 [☆] 圏 [☆] 診 [☆] 絶師床赤字 | 11字 |
| 環境政策 | 棄 [☆] 荷気濁 [☆] 胎 [☆] 排 [☆] 刻類周処困銀俣 [★] 壤 [☆] 騒 [☆] 盤 [☆] 酸 [☆] 削 [☆] 循 [☆] 濃辺許音悪魚空土車 | 28字 |
| 観光政策 | 称 [☆] 説京名暖 [☆] 昧 [★] 奈 [★] 樹 [☆] 党針包土 | 12字 |
| ガバナンス | 株 [☆] 垂 [☆] 秩 [☆] 序 [☆] 領優 | 6字 |
| 公共政策 | 排 [☆] 河川顔洗乗朝起汜 [★] 肢 [☆] 濫 [☆] 脅 [☆] 威 [☆] 享 [☆] 納 [☆] 簡無 舞暴守橋 | 21字 |
| 政策科学 | 志 [☆] 宮 [☆] 摘 [☆] 川掬 [☆] 軸 [☆] 証 [☆] 善 [☆] 踐 [☆] 横終十 | 12字 |
| オペレーションズ・リサーチ | 線混式率客渋 [☆] 滞 [☆] 距 [☆] 離 [☆] 米軍断輪記回英送電 | 18字 |
| 地方分権と地域主義 | 閣 [☆] 勸 [☆] 礎 [☆] 讓 [☆] 括 [☆] 綱 [☆] 憲 [☆] 查略換臣暮断根則院 | 16字 |
| 地域概念と地域主義 | 属 [☆] 紀 [☆] 貿易空帰慮 [☆] 複超傾欧州太洋半西 | 16字 |
| 地域政策 | 囲館崎 [☆] 災 [☆] 隊 [☆] 縁 [☆] 令信頼 | 9字 |
| 地域づくり | 災 [☆] 神阪 [★] 称 [☆] 淡 [☆] 暮震元気 | 9字 |
| 地域政策の担い手 | 亡裁 [☆] 庭胎 [☆] 佐 [☆] 未助陷 [☆] 普船則終 | 12字 |
| 市民参加と協働 | 換 | 1字 |

★：級外漢字、☆：N1漢字

トに挙げられた漢字数が多く、かつ未習の可能性の高い級外やN1レベルの漢字が含まれている章ほど、本文を読解するうえでの留学生の負担は大きいと言える。漢字数が少なく、上級漢字もほとんど含まれていない「市民参加と協働」や「福祉政策」は難易度の低い文章であり、漢字数が多く、上級漢字も多数含まれる「公共政策」や「環境政策」は難易度が高く、読解にあたって漢字への配慮が必要な文章であると言える。

ここまで、事典を読解するうえで重要な漢字398字を特定し、その出現状況をレベル別、章別に見てきた。その結果、重要漢字だけでは上級漢字のカバー率が低いこと、章によってはカバー率が十分とは言えず、各章において重要度が高い漢字も追加する必要があることが明らかになった。次章では、これらの結果をもとに、留学生が事典を読解するうえで必要な学習漢字の選定を試みる。

VI 学習漢字の選定

(1) 優先的に学習すべき漢字について

本学地域政策学部で学ぶ留学生は、週1回2科目の日本語授業が必修になっている。日本語科目を受講できるのは1・2年次の2年間だけであり、3年次からは所属する学科に分かれ、専門分野の授業が本格的に始まることになる。日本語学習に掛けられる時間が限られている留学生が、地域政策学の理解に必要な漢字を効率的に身に付けるには、留学生の日本語能力を考慮に入れて、専門分野の学習に役立つ漢字を選定することが重要である。

そこで、本研究では次の4つの方針に従って、留学生が優先的に学習すべき漢字を選定することとした。

- ①事典全体に高頻度で出現していること
- ②各章の読解に役立つものであること
- ③入学時に未習の可能性が高いこと
- ④留学生にとって学習が可能な分量であること

①から事典全体の90%をカバーできる重要漢字、②から重要漢字以外で各章における出現頻度が高い漢字を今回の学習漢字の選定対象とした。具体的には、①は表3の重要漢字398字、②は表6の章別漢字283字が該当することになるが、②の章別漢字リストには、2つの章に出現する漢字が40字、3つの章に出現する漢字が4字含まれているため、これらの重複を除いた異なり漢字の合計235字を学習漢字の選定対象とする。

そして、③については、本学部の場合、入学時の日本語能力がN2レベルにあると推測される留学生が過半数を占めることから、級外及びN1レベルの漢字は未習の可能性が高いと判断した。①で抽出した398字、②で抽出した235字のうち、③の方針に該当する級外及びN1レベルの漢字は143字であった。

また、④の学習漢字の目安としては、週1回2科目の日本語授業で5字ずつ取り上げ、1週間に10字を学習していくペースであれば、留学生にとって負担も少なく、学習可能な漢字数であろうと考えた。このペースでの学習を15週行えば、半期の授業で150字程度の漢字を学べることになる。①～③の方針に従って抽出した漢字143字は、学習漢字の目安とした150字の範囲内であり、留学生が半期に学習する漢字の量として妥当であると判断し、これを留学生が優先的に学習すべき漢字として選定することにした。表7は、この学習漢字をレベル別、出現頻度順にまとめたものである。なお、重要漢字と章別漢字とでは、事典における漢字の位置づけが異なるため、表6の章別漢字リストから抽出した85字は「追加漢字」として扱うこととした。

学習漢字143字のレベル別内訳は、級外漢字が10字、N1漢字が133字である。重要漢字に加え、章別リストの漢字を追加したことにより、級別のカバー率は級外が74.5%、N1が89.3%となり、

この143字を学ぶことで事典の読解における留学生の負担を軽減することができると思う。

表7 優先的に学習すべき漢字（143字）

| | | |
|----------|-----------|--|
| 級外（10字） | 重要漢字（1字） | 踪 |
| | 追加漢字（9字） | 捉 搦 埼 俣 曖 昧 奈 汜 阪 |
| N1（133字） | 重要漢字（57字） | 策 公 基 施 保 祉 環 展 義 価 条 推 案 提 概 源 援 影 益 響 態 整 創 評 企 織 応 護 視 振 択 統 健 興 障 徴 標 及 需 従 析 範 為 異 宣 討 模 項 審 染 緩 系 素 糜 挙 携 伴 |
| | 追加漢字（76字） | 閣 充 称 排 盤 拡 棄 康 災 志 礎 街 括 株 揮 紀 圏 証 胎 派 該 既 善 属 誰 摘 慮 勸 陥 憲 裁 姿 軸 讓 衰 踐 即 賃 棟 離 威 宮 脅 綱 佐 執 循 診 垂 隊 濁 避 梓 縁 距 享 遣 故 崎 削 酸 肢 樹 洪 序 壤 節 騒 滞 拓 淡 秩 聴 納 融 濫 |

（2）漢字の学習順序について

次に、選定した学習漢字を導入する際の順序について考えてみることにする。今回選定した学習漢字（143字）は、事典中に高頻度で出現する重要漢字（58字）に、各章の読解に必要な漢字（85字）を加えたものである。IV章で述べたように、重要漢字は出現頻度が高く、事典の読解に欠かせない漢字であるだけでなく、複数の章に共通して出現する特徴をもつ。したがって、学習漢字のなかでも重要漢字は入学後できるだけ早い段階で習得することが望ましいと考えられる。追加漢字は重要漢字を導入した後に取り上げることとし、章ごとに必要な漢字を学習してから各章の読解に入ると効果的であろう。また、学習漢字を導入する際は、漢字の難易度にも配慮し、まずはN1レベルから学習を始め、重要漢字のN1→級外→追加漢字のN1→級外という順で進め、留学生にも、どのレベルの漢字をどの程度学ぶのかがわかるように提示することが重要である。

なお、今回はN2レベルの漢字知識がある留学生を想定して学習漢字を選定したが、一人一人の漢字知識に合わせて必要な漢字を選定することも可能である。入学時に既にN1に合格している留学生の場合には、表7の学習漢字のなかから級外の漢字を中心に学習し、N1レベルの漢字については各自が未習のものだけを取り上げるようにすれば、漢字学習の負担をさらに軽減することができる。また、本学部では2年次にゼミナールの選考を行い、3年次に所属する学科が決まるが、表6のリストから自分の専攻や関連する分野の学習に必要な漢字を取り上げ、留学生それぞれに合った漢字学習を進めていくことも可能である。漢字教材を作成する際は、そのような各自の日本語能力や専攻に合わせて、留学生自身が学習漢字を選択できるような工夫が必要である。

Ⅶ まとめと今後の課題

本稿では、地域政策学を学ぶ留学生のための学習漢字の選定を目的として、『地域政策学事典』に出現する漢字の分析を行った。その結果、出現頻度上位398字で事典に出現する延べ漢字の90%をカバーできることが明らかになった。そして、この398字の出現状況をレベル別、章別に調査したうえで、各章の読解に役立つ上級漢字をさらに追加し、留学生にとって未習の可能性が高い143字を学習漢字として選定した。この143字を優先的に学習することで、事典の読解における留学生の負担を軽減し、地域政策学の基礎を効率的に身に付けていくことができると考える。

本稿の調査結果は、留学生の漢字教材を作成する際の基礎資料として活用できるものであるが、今回の調査は事典に出現する単漢字に着目したものであり、これらの漢字の使われ方については、さらに調査を行う必要がある。漢字学習においては単漢字の意味や読み方の理解とともに、その漢字が文章のなかでどのように使われているのか、地域政策学の文脈のなかで理解できるようになることが重要である。今後は、今回抽出した漢字を含む語の調査を進め、地域政策学で使われる漢字語やその用例を収集し、専門語彙の概念を理解することのできる漢字教材を作成していきたい。

(こぐれ りつこ・高崎経済大学地域政策学部専任講師)

註

1) 日本語能力試験「認定の目安 新旧対照」<http://www.jlpt.jp/about/pdf/comparison01.pdf>

参考文献

- 石鍋浩 (2007) 「コメディカル専門語彙に使用される漢字の出現傾向調査—留学生向け学習漢字の選定とワークブックの試作 (第1報)—」『国際医療福祉大学紀要』第12巻2号 pp.63-71
- 工藤嘉名子 (2007) 「『基礎科学』における重要度の高い漢字および漢字語」『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』33 pp.27-42
- 三枝令子・今村和宏・西谷まり (2005) 『専門分野の語彙と表現 経済学・商学編<改訂版>』一橋大学留学生センター
- 武田明子 (2005) 「留学生に対する科学技術専門書読解のための効果的な取り組み—化学工学における専門日本語漢字—」『東京国際大学論叢 経済学部編』第32号 pp.79-91
- 独立行政法人日本学生支援機構 (2017) 「平成28年度外国人留学生在籍状況調査結果」
http://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/2016/_icsFiles/afieldfile/2017/03/30/data16.pdf
- 中川健司 (2010a) 「基礎医学術語を学ぶ上で優先的に学習すべき漢字の選定の試み—二漢字語及び基礎医学術語中の出現漢字傾向調査を基に—」『日本語教育』145号 pp.61-71
- (2010b) 「介護福祉士候補者が国家試験を受験する上で必要な漢字知識の検証」『日本語教育』147号 pp.67-81
- 増田光司・佐藤千史・中川健司・隈井正三 (2006) 『留学生のための二漢字語に基づく基礎医学術語学習辞典—日本で働く医療関係者のために—』凡人社

調査資料

増田正・友岡邦之・片岡美喜・金光寛之編著 (2011) 『地域政策学事典』勁草書房